

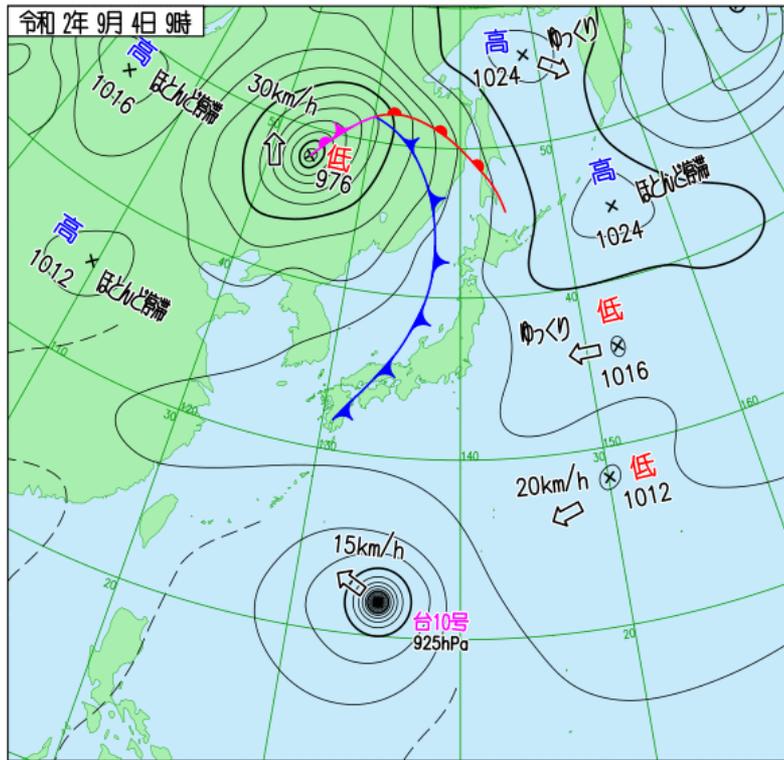
台風第10号説明会資料



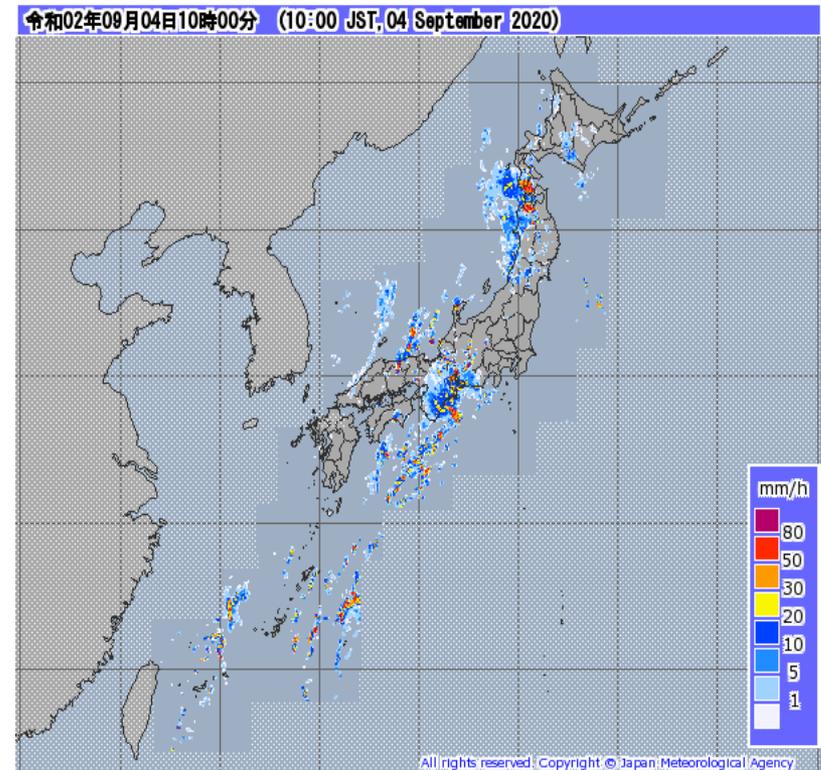
令和2年9月4日（金曜日） 13時00分

広島地方気象台

実況の地上天気図とレーダー



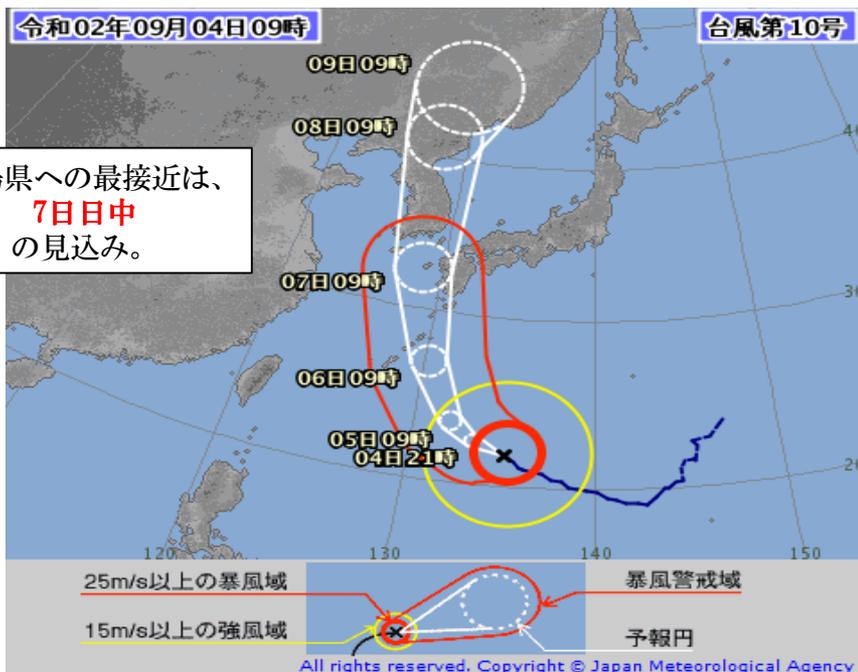
4日9時 地上天気図



4日10時 レーダー観測

- 非常に強い台風第10号は、日本の南の海上を毎時15kmで西北西に進む。
- 今後、次第に北寄りに進路を変え、さらに勢力を強めながら北上し、6日から7日にかけて西日本に接近または上陸のおそれ。
- 広島県には、7日日中に最も近づく見込み。

台風の進路予想



<05日09時の予報>

強さ 猛烈な
 存在地域 南大東島の南南東約270km
 予報円の中心 北緯 23度30分(23.5度)
 東経 131度55分(131.9度)
 進行方向、速さ 北西 15km/h(8kt)
 中心気圧 920hPa
 中心付近の最大風速 55m/s(105kt)
 最大瞬間風速 75m/s(150kt)
 予報円の半径 65km(35NM)
 暴風警戒域 全域 290km(155NM)

最大風速は
55m/s
最大瞬間風速は
75m/s

<06日09時の予報>

強さ 猛烈な
 存在地域 南大東島の北西約160km
 予報円の中心 北緯 26度55分(26.9度)
 東経 130度10分(130.2度)
 進行方向、速さ 北北西 15km/h(9kt)
 中心気圧 915hPa
 中心付近の最大風速 55m/s(110kt)
 最大瞬間風速 80m/s(155kt)
 予報円の半径 110km(60NM)
 暴風警戒域 全域 350km(190NM)

最大風速は
55m/s
最大瞬間風速は
80m/s

<07日09時の予報>

強さ 非常に強い
 存在地域 九州の西
 予報円の中心 北緯 32度35分(32.6度)
 東経 128度35分(128.6度)
 進行方向、速さ 北 30km/h(15kt)
 中心気圧 940hPa
 中心付近の最大風速 45m/s(90kt)
 最大瞬間風速 65m/s(130kt)
 予報円の半径 185km(100NM)
 暴風警戒域 全域 370km(200NM)

最大風速は
45m/s
最大瞬間風速は
65m/s

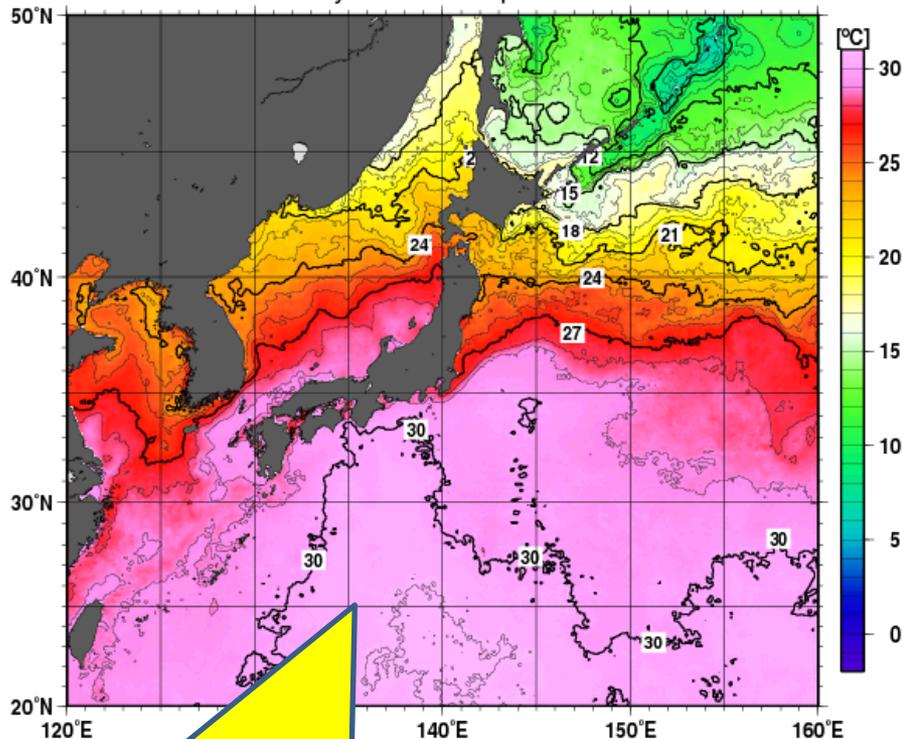
<04日09時の実況>

大きさ -
 強さ 非常に強い
 存在地域 日本の南
 中心位置 北緯 21度50分(21.8度)
 東経 135度05分(135.1度)
 進行方向、速さ 西北西 15km/h(8kt)
 中心気圧 925hPa
 中心付近の最大風速 50m/s(100kt)
 最大瞬間風速 70m/s(140kt)
 25m/s以上の暴風域 北東側 220km(120NM)
 南西側 165km(90NM)
 15m/s以上の強風域 北東側 500km(270NM)
 南西側 440km(240NM)

最大風速は
50m/s
最大瞬間風速は
70m/s

日本近海の海面水温と衛星画像

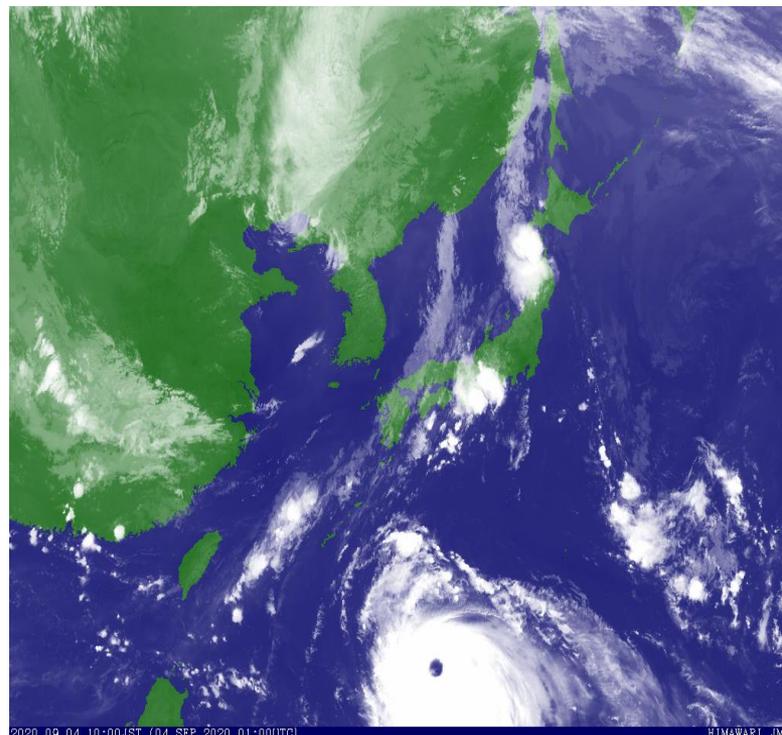
Daily SSTs 02 Sep. 2020.



台風中心付近の海面水温は、30°C以上

日本近海の海面水温

※人工衛星とブイ・船舶による観測値から解析された海面水温



4日10時

気象衛星ひまわりによる赤外画像

【広島県への影響】

早期注意情報（警報級の可能性）

		4日	5日	6日	7日	8日
		0-24時	0-24時	0-24時	0-24時	0-24時
大雨						
暴風				警報級の可能性 [中]	警報級の可能性 [高]	
波浪				警報級の可能性 [中]	警報級の可能性 [高]	
高潮					警報級の可能性 [中]	



警報級の可能性 [高]



警報級の可能性 [中]

大雨は、7日は注意報級の現象を見込む

※今後の台風の進路により変わる可能性もあります。気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

台風第10号の防災事項

- 台風第10号は、7日日中に広島県に最も近づく見込み。
- 7日は、広島県は暴風域に入る可能性があり、6日夜から風が強まる。暴風や高波に警戒。
- 広島県では、満潮の時間帯を中心に潮位が高く、高潮に注意、警戒が必要。
- 7日は大雨になるおそれ、土砂災害、浸水害、河川の増水に注意。
- 特に、土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では風雨が強まる前の早めのタイミングでの対応が必要。
- 強風による農作物への影響も予想されるので、風雨が強まる前の早めのタイミングでの対策が必要。

【中国地方への影響】

早期注意情報（警報級の可能性）

		4日	5日	6日	7日	8日
		0-24時	0-24時	0-24時	0-24時	0-24時
大雨	山陽					
	山陰					
暴風	山陽					
	山陰					
波浪	山陽					
	山陰					
高潮	山陽					
	山陰					

警報級の可能性 [高]
 警報級の可能性 [中]

※今後の台風の進路により変わる可能性もあります。気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 □注意報級)								備考・関連する現象
発表中の警報・注意報等の種別		〇〇日				〇〇日				
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6
風速	風向風速 (風向・メートル)	陸上	5	10	15	20	25	30	15	10
	海上	10	12	15	18	20	25	30	15	10

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	およその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていられないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が倒れる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないテラス小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。 (https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

○**気象警報・注意報**(大雨,洪水,暴風(雪),波浪,高潮,大雪などによる、災害のおそれを警告・注意する)
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

○**危険度分布**(どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示)

土砂災害 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
浸水害 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
洪水警報 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

大雨警報
(土砂災害)
の危険度分布



大雨警報
(浸水害)の
危険度分布



洪水警報の
危険度分布



○**各地の気象情報**(気象概況や大雨の見通し)
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

○**指定河川洪水予報**(国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

○**土砂災害警戒情報**(命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける)
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

○**最新の気象データ**(高解像度降水ナウキャスト、解析雨量・降水短時間予報、雨や風の観測データ、衛星画像)

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>

雨雲の動き



段階的に発表される防災気象情報の活用例

危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報とその利活用

気象状況	気象庁等の情報				市町村の対応	住民が取るべき行動	警戒レベル
大雨の数日～約1日前 ↓ 大雨の半日～数時間前	早期注意情報 (警報級の可能性)				<ul style="list-style-type: none"> 心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認 	災害への心構えを高める	1
	大雨注意報 洪水注意報	高潮注意報	危険度分布	注意 (注意報級)	第1次防災体制 (連絡要員を配置)	ハザードマップ等で避難行動を確認	2
	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報			注意 (注意報級)	第2次防災体制 (避難準備・高齢者等避難開始の発令を判断できる体制)		
大雨の数時間～2時間程度前	※1 大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報		警戒 (警報級)	避難準備・高齢者等避難開始 第3次防災体制 (避難勧告の発令を判断できる体制)	土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、 避難準備が整い次第、避難開始 高齢者等は速やかに避難	3
					避難勧告 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	速やかに避難 ・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難	4
	土砂災害警戒情報	※2 高潮警報 高潮特別警報		非常に危険	避難指示(緊急) ※緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令	避難を完了 ・道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく	
数十年に一度の大雨	大雨特別警報			極めて危険	災害発生情報 ※可能な範囲で発令 ・大雨特別警報発表時は、避難勧告等の対象範囲を再度確認	命を守るための最善の行動をとる ・大雨特別警報発表時には、災害が起きないと思われているような場所でも危険度が高まる異常事態であることを踏まえて対応する	5
				氾濫発生情報			

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。